

2022年(令和4年)3月7日

長野県議会議長

宮本 衡司 様

改革・創造みらい

代表 小島 康晴



### 当面する議会運営に関する提言

県民生活の向上と県民に信頼される議会実現のため、日々ご奮闘いただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、更なる議会改革の必要性に鑑み、私ども会派は当面行うべき課題として次の事項を提案いたします。今後各会派の要望を集約いただくとともに、具体化に向けた取組を速やかに開始されますようお願い申し上げます。

今議会会期中に議員数名の新型コロナウイルス感染が判明、議事が中断する事態に至っている。陽性となっても症状がないあるいは軽微な場合や濃厚接触者に認定された場合にあっては、委員会にオンラインでの参加が可能と考えられ、東京都などの11都府県においては条例改正により対応を図っている例もある。かかる状況下にあっても委員会を開催し議事進行を図る必要性に鑑み、感染症や大規模災害等不測の事態に対応するため、「長野県議会委員会条例」の一部改正を早急に進められたい。